

日本教材学会研究企画委員会研究プロジェクト 審査内規

「研究プロジェクト」の審査は、この審査内規に従って、当研究企画委員会が審査を行う。

I. 審査方針

審査は、以下の①～④の項目に対して、1～5の評点をつけて行う。

① 研究課題の学術性・有用性

- ・教材学に資するものであるか、あるいは学校等教育現場での教材研究の発展に寄与するものであるか。
- ・テーマに関連する研究動向と本研究の位置づけは明確であるか。

② 研究目的、研究方法の妥当性

- ・研究目的が明確であり、その研究目的を達成するため、研究方法等は具体的かつ適切であるか。また、研究経費は研究計画と整合性がとれたものとなっているか。

③ 研究遂行能力及び研究環境の適切性

- ・これまでの研究活動等から見て、研究計画に対する十分な遂行能力を有しているか。

④ 研究課題の波及効果

- ・本研究課題による成果は、どのような教材学の発展、学校等教育現場への波及効果が期待できるか。

II. 利害関係者排除

評価に関する利害関係の排除の取扱いについては、次のとおりとする。

- 1 研究企画委員会の構成員は、申請課題の研究代表者にはなれない。
- 2 研究企画委員会の構成員が、申請課題の共同研究者である場合は、評価に加わらないこととする。
- 3 研究企画委員会の構成員が、申請課題の申請代表者、共同研究者との関係において、次に挙げるものに該当すると自ら判断する場合は、評価に加わらないこととする。
 - (ア) 親族関係もしくはそれと同等の親密な個人的関係
 - (イ) 緊密な共同研究を行う関係（例えば、共同研究の遂行、共著研究論文の執筆もしくは、同一目的の研究會メンバーにおいて、緊密な関係にある者）
 - (ウ) 同一研究単位での所属関係（同一学科や講座の研究者等）
 - (エ) 親密な師弟関係もしくは直接的な雇用関係

III. 審査の方法等

1. 審査方法

- 1 研究企画委員会は、申請代表者から提出された申請書類（「研究計画書」）に基づき、書面審査を行う。
- 2 研究企画委員会による書面審査の結果を踏まえ、合議により研究企画委員会が採択課題を決定する。
- 3 研究企画委員会は採択した課題を理事会に提示し、理事会の承認を経て、最終的な決定となる。

IV. その他

1. 開示・公開等

- (1) 審査の過程は、非公開とする。
- (2) 審査結果については、個別に通知するものとし、採択研究課題に関しては、日本教材学会ホームページで公開する。

2020年10月17日

日本教材学会研究企画委員会

委員長 朝倉 徹